

## 実施要項

江戸東京たてもの園は、都内に存在した文化的価値の高い歴史的建造物を公開している野外博物館としての利点を活かし、古い建物の内部に生活民俗資料を展示することで、それぞれの時代の生活の様子を再現しています。

「昔くらし体験」では、普段の生活の中でかつて使用していた道具を間近で観察することで、その道具を使っていた頃の人々のくらしについての理解を深めることができます。ぜひ御活用ください。

### 1 対象

小学校3年生（社会科「道具とくらしのうつりかわり」学習を想定した体験プログラム）

### 2 体験内容

- (1) 囲炉裏体験：建物内にある囲炉裏で火を焚く様子を御覧いただきながら、煙の匂い、囲炉裏で使用する道具を観察し、囲炉裏の役割についての理解を深めます。
- (2) 昔の道具解説：囲炉裏や火鉢で使う道具の解説と、薪・炭・消し炭の違い、さらには灰の利用など、資源を効果的に使い切る昔のくらしについての理解を深めます。
- (3) その他、東ゾーン等で使用できるかんさつシートが利用できます。  
※(1)及び(2)の指導は当園学芸員が行います。  
※園内移動での児童の誘導は、付き添いの教職員が必ず行ってください。

### 3 実施日時

- ・休園日を除いた平日。原則、週1回実施。(令和5年10月から令和6年3月中旬まで)
- ・10時から12時まで(2時間)
- ・園行事やその他事業等によりお受けできない日があります。
- ・予約した体験日時の変更・延期・予備日の設定はお受けできません。
- ・体験実施日以外の御来園は、随時、団体見学にてお受けしております。

### 4 所要時間

- ・各クラス30分程度(1クラスを半分に分けて、吉野家と綱島家を見学いただきます)  
(内訳) 吉野家：見学・解説～15分程度 (1クラスの半分/上限18名)  
綱島家：かんさつシート～15分程度 (1クラスの半分/上限18名)
- ・別紙「昔くらし体験 基本スケジュール(学校配布用)」を御確認ください。

### 5 受入校数

- ・1日につき1校のみ(100名程度まで)
- ・1校を複数日に分けて実施することはできません。
- ・学級数や児童数の多い学校は、体験を制限する場合があります。

## 6 実施場所

- ・吉野家、綱島家（西ゾーン内）
- ・修繕工事等により、実施場所を変更する場合があります。

## 7 班編成

1グループにつき7～8名程度

※1グループ上限9名、最大12グループを目途に編成してください。

## 8 申し込み方法

令和5年7月上旬よりお電話で申し込みを受付けます（先着順、電子メール不可）。

受付後に当園昔くらし担当宛てに電子メールを送付してください。折り返し担当より「受付確認、実踏・打ち合わせについて、減免申請のご案内」を電子メールにて送付します。

## 9 実地踏査（下見） \*必須

体験を希望する学校は、開園時間内に実地踏査（下見）を必ず行ってください。

〈事前確認ポイント〉

- ① 実施場所の位置や移動時間、園内避難場所  
（「13 地震が発生した場合の対応」参照）等
- ② 復元建造物の公開状況  
例：修繕工事等による閉鎖エリア等

※当園ホームページで最新情報を必ず御確認ください（実地踏査日及び実地日共）。

教職員の方が実地踏査（下見）される場合は入園料が無料になります。受付（インフォメーション）にてその旨お申し出いただき、身分証明書など所属のわかるものを御来園される人数分御提示ください。

## 10 事前打合せ \*必須・予約制

体験内容の詳細や持ち物、円滑に実施するためのお願いや注意事項、事前学習のポイントなどについてお話しします。調整の上、実施日を決定させていただきます。

## 11 見学及び体験に際してのお願い

江戸東京たてもの園を御見学いただくにあたり、建造物保存の観点から次の事項につきまして、あらかじめ児童の皆様にご周知いただきますよう御配慮願います。

- (1) 江戸東京たてもの園は、東京の歴史や建物について学ぶ博物館施設です。静かに見学しましょう。
- (2) 見学中は大きな声を出したり、走ったりして、他の人の迷惑にならないよう注意しましょう。
- (3) 建造物内では、飲食はできません。こぼしたりすると大切な文化財を傷めることにもなりますので止めましょう。
- (4) 園内のものはどれも大切な文化財です。「手を触れないでください」と書いてある展示物には、絶対に触らないようにしましょう。
- (5) パンフレットや園内の注意書きをよく読みましょう。わからないことは園内スタッフに聞きましょう。
- (6) グループに分かれて見学する場合は、グループごとに見学マナーをしっかりと守りましょう。

◆当園ホームページ「ご利用案内・アクセス」の下階層「たてもの園からのお願い」には、来園に関する注意事項をまとめています。御参考になさってください。

<https://www.tatemonoen.jp/raien/cautions.php>



園内の見学には、肩掛けタイプの画板(ボード)を御持参されることをお勧めします。



仕上がりは A6 サイズの冊子になります。ハサミを使う際は十分御注意ください。

建物に入る時は、大きな荷物は持たない(預ける)か、もしくは抱えて持つようにしてください。

◆当園 HP「学校関係の方へ」には、A3 用紙に両面印刷をして使える学校向け「江戸東京たてもの園 見学のしおり」を掲載しています。古い建造物を守りながら学ぶために、10 の約束と園内マップをまとめたしおりです。

[https://www.tatemonoen.jp/contact/images/tour\\_guide\\_booklet.pdf](https://www.tatemonoen.jp/contact/images/tour_guide_booklet.pdf)



## 12 入園料

- ・ 児童(小学生) …………… 入園無料
  - ・ 引率の教職員 …………… 入園料免除(事前の承認が必要)
- ※事前打合せ後に、「減免申請書」に必要事項を記入し、体験実施日の14日前までに電子メールにて申請ください。後日、当園より電子メールにて「減免承認書」をお送りします。
- ※付添いの保護者やカメラマンは免除対象となりません。事前に入園券をお求めください。

### 13 地震が発生した場合の対応

#### (1) 体験中の場合など建造物の中にいる場合

その場で体験を中止します。教職員のみなさまは児童を落ち着かせてください。

落下物によるケガ等为了避免のため、揺れがおさまるまで建造物の外に出ないでください。

#### (2) 建造物を外から見学時や園内を移動中

瓦などが落ちてくる場合がありますので、建造物に近づかないでください。

#### (3) 大きな地震が発生した場合

園内放送が入ります。教職員のみなさまは放送や警備員等の指示に従って児童・生徒の避難誘導をお願いします。

※園内の避難場所はエントランス広場及び東の広場（藤棚の前）です。実地踏査（下見）時に必ず御確認ください。

### 14 その他

#### (1) 雨天時

体験は復元建造物内で実施しますので、雨天の場合でも体験していただけます。

※雨具(かさ・カッパ等)のお取扱い、紛失に御注意ください。

#### (2) 飲食可能な場所

園内の建物（30棟の復元建造物）内は、天候にかかわらず飲食禁止です。飲食は、園内エントランス広場、東の広場、ベンチ設置箇所などを御利用ください。

※東ゾーン・店蔵型休憩棟1階は、どなたでもお使いいただけるスペースとなっており、一般のお客様も御利用になります。特定の団体のみでの占有は御遠慮いただいております。譲り合ってお使いください。

#### (3) 昼食場所の予約

飲食可能な屋内施設は、プレハブ棟（東ゾーン子宝湯北側、定員80名）2階のみです。

※プレハブ棟の御利用には予約が必要となりますので、体験申込時にお申し出ください。

※プレハブ棟1階は園内スタッフが使用しています。机・椅子の移動や昼食時は大きな音をたてないよう御配慮願います。

#### (4) 事後アンケートのお願い

貴重な情報として今後の博物館運営に活用させていただきます。御協力をどうぞお願いします。

#### <問合せ先>

江戸東京たてもの園 昔くらし体験担当

所在地:東京都小金井市桜町三丁目7番1号(都立小金井公園内)

電話番号(代表):042-388-3300 ファクシミリ番号:042-388-1711

電子メールアドレス(教育普及専用):tatemono.jigyo@edo-tokyo-museum.or.jp